

教育相談

072-941-3365

情報推進

072-943-5785

研究・研修

072-943-5784

八尾市ホームページ <https://www.city.yao.osaka.jp>
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

八尾の小さな巨匠展

日 時：令和2年1月22日（水）～1月24日（金）

場 所：八尾市文化会館「プリズムホール」 3階 展示室

「八尾の小さな巨匠展」は、八尾市立学校の支援学級ならびに大阪府立八尾支援学校、大阪府立藤井寺支援学校の児童・生徒の絵画・工作などの作品を展示する作品展です。子どもたちの学習の成果を認め合い、作品を通して交流を深めるとともに、広く地域の人々に特別支援教育に対する啓発をはかることを目的として、八尾市教育研究会の主催で毎年開催されています。

初日のオープニングセレモニーでは、八尾市立竹湊小学校の児童代表があいさつをしました。その後、八尾市立北山本小学校の児童によるテープカットで、幕を開けました。

展示された作品は、どの作品も子どもたちの個性と創造性に溢れ、まさに「小さな巨匠」と呼ぶにふさわしいものばかりでした。3日間の開催期間中は、子どもたちだけでなく保護者や市民の方も会場を訪れ、展示された作品を興味深く熱心に観賞されていました。

来賓の方々をはじめ、皆様のあたたかいご支援により、盛会のうちに作品展を終えることができました。



研究協力員成果報告会

教育センターでは、八尾市教育振興計画の基本理念に基づき、そのめざす子ども像である「未来を切り拓く チャレンジする『八尾っ子』」の育成のため、教職員の教科指導等の指導力向上を目的として、研究協力員による研究を進めています。

令和2年1月20日（月）、研究協力員成果報告会として、各部会の1年間の研究成果を発表しました。各部会からは、指導方法の改善や学習指導と評価の一体化といった「主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくり」についての研究や、小中一貫教育の視点をふまえた「学びの連続性を意識した指導」についての研究など、子どもたちの学びがさらに深まるような研究について発表がありました。受講者は発表を熱心に聴き入っていました。今年度の研究成果については研究紀要にまとめて学校に配付し、今後の授業づくりに活かしていきます。



特別支援教育コーディネーター研修

日 時：令和2年1月27日（月）15：30～17：00

講 師：梅花女子大学 教授 閑喜 美史 さん

「特別支援教育コーディネーター研修」は、学校園において校
園内支援体制の充実を図り、中核となって特別支援教育を推進す
る特別支援教育コーディネーターの実践的な指導力の向上を図
ることをねらいとしています。当日は、講師の閑喜先生より「通
常の学級における学びにくさのある子どもへの支援」というテー
マでご講演をいただきました。

受講者からは「『子どもの実態（授業の様子・プリント・ノ
ートのとり方など）から子どもがどう見えているのか、どのよう
なとらえ方をしているのかをアセスメントすることから始めるこ
とが大事です』とのお話があり、あらためてアセスメントの重要
性を感じました。また、視覚認知の弱さと、言語理解の弱さとの
つながり等も知ることができ、担当する児童への指導内容を考え
るアセスメントをいただくことができました。」「姿勢のことも、
言うだけではなく、意識させるための動きを取り入れると良く、動作化を取り入れると、イン
プットもしやすいことも、本当に意味があるんだなとわかりました。」「2年前から自校の支援
学級でコグトレに取り組んでいます。認知機能を高めるトレーニングとして使用していましたが、
今日の講義でコグトレの結果からどのような知的機能が苦手か探してみるという視点をも
つことができました。」「今回の学習指導要領について、通常の学級も対象になっていると聞いて
いたが、具体的にどのように記述されているか教えて頂き、校内でも全体化していく必要が
あると思いました。」「分かりやすい例をあげて、アセスメントをどのようにしていくか、どん
なアプローチが必要なのか詳しく教えていただいたのでイメージがわきました。学習指導要領
の解説に書いてあることも教えていただいたので、すぐにやろうと思いました。コーディネ
ーターとしてなかなか問題が解決できず悩んでいました。一人ひとりの困り感をよく見て、教員
全員で取り組んでいかなければいけないと思います。」「自立活動の内容項目を参考にすること
でより子どものニーズに合った個別の指導計画の作成ができるようになると思いました。内容
は全体的に小学校のことが中心だったので、実感がわききらなかった部分もありましたが、知
らないことを知れたのがよかったと思います。」といった感想がありました。



ICT担当者研修

日 時：令和2年2月3日（月）15:30～17:00

講 師：広島教科書販売株式会社 安部 幸祐 さん

大阪産業大学 准教授 山田 啓次 さん

この日は小学校及び義務教育学校前期課程の ICT 担当者を対象として研修を実施しました。
まず、今年度更新した電子黒板用 PC にインストール済みの情報モラル教材「事例で学ぶ Net
モラル」の活用について、教材開発会社の担当の方から説明を受けました。受講者からは「こ
んなに良いものが入っていることを知れてよかった」といった感想がありました。

また、大阪産業大学の山田准教授には、「小学校プログラミング教育のカリキュラムについて」
というテーマで講演をしていただきました。プログラミング教育が必修化となる背景や学年に
応じたカリキュラムの提案など幅広くお話しいただき、受講者からは、「プログラミング教育に
ついて「創造性教育」という言葉で語られたのには魅力を感じた」「産業構造の変化が子ども達
の未来に大きな影響を与えていることがわかった」などの感想がありました。